

第2回 旧北上川堤防利活用協議会（議事録）

【日時・場所】平成31年2月12日（火）17時00分～18時30分

かわまち交流センター（かわべい） 1階 市民交流ホール

【出席委員】（17名）

石巻専修大学： 教授 佐々木 万亀夫
網地島ライン： 代表取締役 安倍 友一
東北大学： 准教授 姥浦 道生
石巻商工会議所： 会頭 浅野 亨
石巻観光協会： 会長 後藤 宗徳
街づくりまんぼう： 代表取締役社長 西條 允敏
元気いしのまき： 副社長 松本 俊彦
ISHINOMAKI2.0： 代表理事 松村 豪太
みらいサポート石巻： 専務理事 中川 政治
橋通り会： 会長 佐藤 邦夫
仲町第三親和会： 会長 阿部 紀代子
宮城県石巻港湾事務所： 次長（港政班長）高橋 道宏
北上川下流河川事務所： 所長 高橋 政則
石巻市： 復興政策部 復興政策課長補佐 吉田 康
復興事業部 市街地整備課技術課長補佐 菊池 亮治
産業部 商工課長補佐 遠藤 正啓
建設部 次長 伊勢崎 誠一

【欠席委員】（2名）

東北大学： 准教授 平野 勝也
本町協和会： 会長 高橋 伸一

【事務局】

石巻市： 建設部 次長 間山 隆之
河川港湾室 室長 遠藤 一成
室長補佐 千葉 宏一、技術室長補佐 小山 茂基
技術主査 知念 洋一郎、主事 武内 大知
街づくりまんぼう： 統括部長 木村 仁、課長 荻谷 智大

○将来的に暗いとなった際は対応できるのか。

→できるかできないかで言えば、できる。

○河口から一連で照明は点くのか。

→基本的には中央地区、他の地区では階段部分には設置する。また、この整備内容は旧北上川かわまちづくり検討会で議論されているものであるのご理解いただきたい。

○友福丸前の階段のパイプはどういうものなのか。

→あの配管は雨水排除のための仮設のものである。

(いしのまき元気いちば)

○照明は1本だけ消す、花火の際明るすぎるので消したいというのは可能か。できればそのような機能にして欲しい。

→一本だけというのは難しいが、手動に切り替えを行い、全て消すことは可能。

(2)協議会規約について

(石巻市 河川港湾室) (資料-2 参照)

○新旧対照表を元に、前回の素案からの変更点を説明。

○質疑等はなし。

3. 協議事項

(1)社会実験に伴う手続きについて

(石巻市 河川港湾室) (資料-3 参照)

○資料に基づいて、今後の整備、協議会、利活用に向けた動きの説明と、社会実験計画書(案)及び施設使用者公募要項(案)に盛り込む項目の説明を行った。

○計画書、要項の素案作成は事務局に一任し、固まった段階で協議会に見てもらいたい旨説明。

(座長が決を取り、素案は事務局で作成することに決定)

《質疑応答》 (特に注釈のない場合、回答は事務局)

(仲町第三親和会)

○公募の主体は協議会のほうが良いのではないかと。使用者の決定を協議会で行うのであれば、公募も協議会名義のほうが自然ではないかと。

→社会実験を行うためには市が河川敷地を占有する必要があると、市には借主としての責任が生じる。そのため、公募や計画書の提出は市が頭になる必要がある。選定は協議会で行い、それを市に進言していただくという形をとりたい。

(橋通り会)

○社会実験ではどれくらいの軒数を予定しているのか。

→事務局で相談し、エリアを区切る等、公募要項作成の中で決めていきたい。

○社会実験後の実際に始まってからは何軒ほどになるのか。

→事務局としてもまだ予想が付かないところであり、社会実験の中でどこまで範囲にすべきか、何軒が良いかを検証したい。

(街づくりまんぼう)

○エリアも含め今から決めるのか。

→社会実験中は可能な限り広めに、住宅のある14・15番地区から交流センターの11番地区までをエリアにしようと考えている。実際に行う際は社会実験を踏まえて広めたり縮めたりする必要がある。

(東北大学 姥浦)

○一度で決めるのは厳しいのではないかと。一度くらい議論の場を設けたほうが良いのでは。

(商工会議所)

○事前に送り、期限を定めて意見をもらえば良いのではないかと。

→完成後、次回協議会開催の前にメール等で見ていただければと思う。

(2)利用イメージについて

(石巻市 河川港湾室) (資料-4 参照)

○社会実験計画書等に参考にできればということで、委員の皆様の利用イメージを伺いたい。

(ISHINOMAKI2.0)

○大切なのは稼ぐということ。出店事業者と、この周辺が稼ぐことが大事。

○また、もうひとつの視点として、このエリアが稼ぐためには、この場所がセンスの良いカッコいい場所にならなければいけない。明るさ問題の議論があったが、ここが若い人がデートに使いたくなるようなムーディーな場所となるか、薄暗いお化けが出そうな場所となるかは、出店者や営業形態にかかっている。

(網地島ライン)

○カッコいい場所であれば人は集まらない。よく言われる大阪に対する神戸、東京に対する横浜というように、仙台に対する石巻となれば良い。仙台の若い女性が、カッコいい場所だという事で、ボーイフレンドを石巻に連れてくるくらいが良い。今のイメージ図では堤防の上に色々なデ

ザインものが乗っているが、バランスの取れたものにする必要がある。また、今のキッチンカーの配置は街側からキッチンカーの裏側が見えるようになっているため、そこも考えてデザインした方が良い。

- 友福丸のベランダから橋をかける構想しているが、現実に今付近で営業活動しているのは、友福丸と元気いちばしかないため、そのバランスも取ってほしい。

(いしのまき元気いちば) (写真資料での説明)

- 元気いちばの前の堤防にはテーブルを並べて、元気で買った商品を食べていただきたい。
- 1階で買ったものをバーベキューで焼けるようなコーナーとして、実際は炭火は難しいので、カセットコンロを置いたスペースをつくりたい。
- 石巻市に東屋を設置する構想があるということなので、その東屋が、ある時は屋根付きのバーベキュースペースとなったり、ある時は音楽ステージとなるような機能があれば、人が集まりやすい。
- 他の形態のバーベキューとしては、焼く専用のスペースで焼き、テーブルへ持って行って食べるということも考えられる。
- 既に店内では実施実績のあるジャズイベントも外でやれたらよい。
- 朝ヨガのイベントを実施し、朝食を元気いちばで食べてもらうというものもある。
- 牡蠣小屋をやりたいとずっと考えているが、現在はスペースがなくできていないため、堤防上でやりたい。
- 固定店舗として、串焼き店、カフェやコーヒーという考えもある。
- また、他団体と協力しイルミネーションや萬画館へのプロジェクトマッピングを行えば、たくさんの方が来るかと思う。

(石巻観光協会)

- 観光協会には石巻の牡蠣小屋の件で、予約をしたはずなのに店が営業していない等かなりクレームが来ている。石巻も松島に劣らず牡蠣の一大産地なので、堤防ができればそれをアピールしていきたい。
- 地域包括ケアということで朝散歩やラジオ体操のイベントが行えればよい。
- 堤防に七輪を持込みで、500人くらいで並んで秋刀魚を焼くというのも面白い。
- 軽いサイクルツーリズムとしても堤防は利用できる。
- 川の水面にフローターを並べて中瀬まで何秒で子供たちが走れるかというイベントも行いたい。
- 水辺というのは私たちが子供の頃は近かったが、事故などもあり、水辺を遠ざけていたというのが行政的な配慮だった。これは当然必要なものだったが、これをもう一度水辺を近くに取り戻すということができれば、人が集まるようになり、周辺の事業者にも波及するのではないかと。

(商工会議所)

- 復興事業が完了した後こそが、石巻づくりのスタート。北上川をどう活用するかが重要。基本的には堤防は自由に使えるという事から発想してほしい。また、中瀬の公園整備も平行して進めて欲しい。石巻が生き残るためには北上川と牡鹿半島しかない。
- 今日出席している人はいいが、商店街の人々には自分たちが石巻の中心にいるという責任と自覚をもって頑張ってもらいたい。

(街づくりまんぼう)

- 稼ぐということが大きなテーマとなっているが、別の角度から見ると、この場所に人を集める、人が集まるということを考えて欲しい。そうすれば、来た人が帰りに街に寄り、街として儲けることになる。今予定されているエリアは広いようで狭い。店とイステーブルのスペースを取ると、何百人を集めるためには、朝9時から夜10時までやらないと目標人数に届かない、収容し切れないということになる。

(みらいサポート石巻)

- 震災を伝えるという活動をしており、石巻の魅力の一つと言って良いようにしていかなければいけないと思っている。
- 今日も関西から大学生が学びに来ていたが、一昨年より昨年の方が、訪れる人数が多くなっている。おそらく元気いちばができたことで、食事をするついでに勉強をしていこうという人もいるのだと思うが、祈念公園ができるとそちらまで繋がっていけるような場所になるといい。
- 昨年のダイヤモンドプリンセス寄港のような単発の催しでも、この場所は人でいっぱいになると思う。
- 川開き祭では孫兵衛船をドローンで撮影していたところ、映像が欲しいという人が多くいた。ドローンで撮影したものを中央地区でスクリーンに映して中央地区でも一緒に盛り上がるような、ソフト面での手伝いはできると思う。稼げるという話には繋がらないかも知れないが、総合力でこの魅力を高めることに貢献したい。

(仲町第三親和会)

- (みらいサポートのアイディアは)孫兵衛船を観戦しながらビールを飲むような形にすれば、とても稼げると思う。
- 稼ぐことも大事だが、稼ぎ続けられる環境をつくることが重要。冬が最も戦わなければいけない時期なので、そこでどれだけ人を呼べる企画をするか。堤防だけで頑張るのではなく、堤防の魅力を向上させることで、周辺の我々も一緒に連動して頑張っていきたい。

○神奈川の多摩川では川沿いのイタリアレストランが1階部分を2部屋使って、川辺に張り出して本格イタリアンを食べさせていた。本当に色々な使い方ができるので、皆で考えていきたい。

(橋通り会)

○橋通りでは現在物販は2軒のみ。その他はほぼ更地になっている。店主が70代、跡取りもなく、銀行からの融資も難しい状況で元の商売は無理。橋通りで昔からやってきた夜店を行ったところ、その際は驚くほど人が来た。街づくりまんぼうに協力していただき、そういった催しも行っていきながら頑張っていきたい。

(仲町第三親和会)

○先ほど言い忘れたが、網地島ラインで街から船に乗り、河口で降り堤防で戻ってくるというのはどうか。

(網地島ライン)

○それは既に想定しており、その区間の料金設定も済んでいる。料金は200円。時間は限られるが、午前中12時までの間はピストンが可能。なぜこのような想定をしているのかというと、街中の駐車場がないため。例えば去年のGWでの田代島の実績は車で250台ほどの人が来たが、それが9時発の便に乗るため8時半に街中にくるとすると、立体駐車場が朝から夕方まで満杯になるほか、余った車が街中をぐるぐるすることになる。よって駐車場の問題をしっかり考えないといけない。

(仲町第三親和会)

○街中の空き地は現在の復興工事の業者が借り上げ、駐車場や現場事務所として使用しているため、現実に街中で働いている人ですら駐車場がないような状況になっている。社会実験をする際にも、人を呼んで車が街中を回っているような状況ではいけない。

(事務局による会議のまとめ)

○社会実験と手続きの部分については、素案は事務局に任せていただき素案を作成する。次回の前までに委員へ送付するので確認していただきたい。

○利活用イメージについては、熱い思いと意見をいただいたので計画書と要項に入れ込めるよう考えながら作成したい。

4. その他

(石巻市 河川港湾室)

- 次回の協議会開催は、3月下旬から4月上旬を予定している。
- この協議会は現在任意の組織となっているが、4月以降は市長からの委嘱状を交付させていただき、正式な協議会とさせていただきたい。委嘱にかかる事務手続きが終わり次第、皆さまにも手続きをお願いしたい。